



会報

DISTRICT 253

CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA



スキー

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 P.M 12:30—1:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 5775

会長 鈴木 弥 一 郎
幹事 中 江 亮

Service. I believe in Rotary.

奉仕・ロータリーを私は信奉する。

第 890 号

1977. 1. 18 (火) (ゆき)

No.24

— 本日のプログラム —

1. 点 鐘
2. ロータリーソング (手に手つないで)
3. ゲスト・ビジター紹介
4. 会長報告
5. 幹事報告
6. 雑誌週間について 早坂源四郎バスタガバナー
7. 年男のスピーチ～石井敬三君
8. 会員スピーチ～斎藤栄作君
～安藤定助君
(元会員の高橋辰美君及び河村修一郎君、吉村君の近況について)
TEL、お年賀で相変わらず張切っておられるとの事、大変うれしく
思いました。
9. 情報抄録～クラブ会報編集者記事 1976年11月号より
10. 出席報告

■ ゲスト・ビジター紹介

原田行雄君、羽根田正吉君—鶴岡西 R・C

■ 会長報告

- ① R・Iより当クラブロータリー財団基金2,200%達成の朗報が参りました。張先生初め御家族張秀子様、張広重様、張紀久代様がポールハリスフェローになられました。張先生の御協力に感謝申し上げます。
- ② 本日は雑誌週間のプログラムを予定致して居りましたので雑誌委員会の早坂さんにスピーチを御願い致します。
- ③ 本日第4回クラブ協議会を2時から開きます。
- ④ 5月にR・Iにて開催されますロータリー規定審議会に、当地区(353)の委員として早坂パストガバナーが出席されることになって居ります。その審議項目に対し昨日(17日)産業会館に於て会長、幹事、次年度会長、幹事及び三井健君が集りまして早坂パストガバナーに細かい説明を戴きまして審議を行いました。詳細については後刻報告申し上げます。
- ⑤ 鹿児島西クラブ鮫島志芽太先生より年賀が参って居ります。

■ 幹事報告

- 例会変更案内
山形北R・C～1月27日を1月26日 P・M5:30 亀松閣(新年会)
- 会報到着案内～遊佐R・C
- 認承状伝達式(明石北R・C)～4月23日(土)14時より
於 明石市民会館 登録料 @ ¥10,000
- オクションのご寄付を1月20日迄必ず事務局にお持ち下さい。
- 新年家族会の出欠を同じく1月20日迄に申し込んで下さい。
内容はまさに空前のものですが親睦の丹下君から事前公表を禁じられていますので申し上げますが、絶対ご期待出来る素晴らしい催しでありますのでご家族の方々なるべく多数参加されるようお願い申し上げます。
- 雑誌週間特別スピーチ～早坂源四郎パストガバナー

■ 雑誌週間について

早坂源四郎パストガバナー

ロータリー定款第10条の公式出版物の第1条に会員は必ず国際ロータリー機関雑誌の購読者となる義務がある事を述べているが、この機関誌はロータリーの友でなく英文のロータリアン誌です。自発的にロータリアン誌を購入せねばならぬが現在、本当に新しいクラブでは購入しているか疑問であります。この様な事実に合わない定款が出ているので規定審議会に色々な案が提出されている。

- ① ニュージーランドのR・Cからだれでも国際ロータリー機関誌又は地域・地区で発行されている雑誌を予約購読をしなければならないという規定を設ける事にしたらどうか。
- ② 会員が予約購読者とするのは本人の自由にまかせるという提案、これは色々問題があると思う。
- ③ オーストラリアのボイスコータのR・Cの提案

機関雑誌又は指定の地域的なロータリアン誌のいずれかを各 R・I の選択にまかせる事。

これは日本の現状にあつておると思う。実際に定款とかけ離れた現況ですので6月の審議会で色々討議されると思います。

○会議運営手続要欄の167頁に会議運営の規定があるが、今度 R・I が改定した手続を出しますがアメリカの高校でも教えられているロバート・ルール・オブ・オーダー (Robert rule of order) という運営方式に改定され、青年会議所でも10年前に行われているという事である。

<石井敬三君>

ロータリーに入つて2年間、未だ若輩故一生懸命勉強したい。これからも御指導御鞭撻をお願いします。

<斎藤栄作君>

私の所によく昼集金又は注文に来るがこれは非常に困る。これは各事業所の方に御注意をお願いします。

■情報抄録

クラブのイメージ作りを促進しよう

地域社会の人々が、ロータリーをどのように考えるかは、われわれ全会員にかかっているのである。時折りわれわれは、次のような質問を自分自身にたずねなければならない：

—われわれのクラブのイメージは、地元地域社会の人心にどのように映っているか？

—会員は、地元地域社会における実業および専門職業活動をほんとうに代表しているか？

—クラブは、地元職業界の「代表的人物」を迎え入れようと努めているか？

このような公正な態度こそ地元地域社会におけるリーダーとしてのロータリーの地位を不動のものにするのである。

職業奉仕＝「奉仕の本通り」

「職業奉仕はいわば奉仕の本通りであつて、社会奉仕、クラブ奉仕、および国際奉仕の各部門は、そこから分かれて出てくるものと考えられないだろうか？」これは国際ロータリー会長 ロバート A・マンチェスターⅡ氏が、ロータリアン達とそして世界の人々が、一つの目的に結ばれることの必要を強調し訴えたスピーチの一部である。ロータリアン誌の最近号で会長が再び「ロータリーを信奉する」ようわれわれに求めているのは、「信じることは行動すること」であるからだ。

ロータリーの大特典

ロータリーの会員に与えられている大特典の一つは、新会員を推薦する権利である。新会員を推薦することは、ロータリーのみが提供できる満足感を全部享受しうる機会を友人に与えるための第一歩である。あなたには今、だれかロータリーを分かち合おうと思う人の心当たりがありませんか？

「ロータリーの世界」からの引用

世界中の諸所でロータリーはどんな活動をしているものなのか？この問いに対して、世界各地のリーダー格のロータリアンは「ロータリーの世界」の中で次のように述べている：

- ① 「アフリカのロータリアンたちは、アフリカにおける最初のロータリー・クラブ (1921年、ヨハネスバーグ) が創設されて以来、自分たちの地域社会とさらにもっと広い世界への奉仕の仕事に営々と打ち込んで来ました。」—J・P・デュミニエー
- ② 「アジア全土において、ロータリーは平和と理解のシンボルと見られています。これ

- は、真理、慈悲、善、人類は只一つという宇宙の原理を説いたマハトマ・ガンジー、グーラー・ナナクなどアジアの哲学者の非暴力主義と一致します。」—ビチャイ・ラタクル
- ③ 「第一次大戦後の間もない頃に最初のロータリー・クラブの創設をみたオーストラリアとニュージーランドでは、……いわゆる「地球の反対側」のロータリー仲間同士の間にもみられる暖い友情と民主的な率直さ、そしてロータリーの発展とクラブの独創的な企画となって現れている生氣発刺さがあります。」—ハロルド・ハント
- ④ 「ロータリーの立派な仕事については、中南米諸国の政府も国民もこれを認めています。……ロータリーやロータリアンを記念する名前は、道路に、記念碑に、建物に、学校に、図書館に、そして病院に記されています。」—アルベルト・ビレス・アマランテ
- ⑤ 「国が違えば、そこで求められているものも違ってきますから、ロータリーの活動もいろいろとなるわけでありませう。しかし、そのすべてが奉仕—「他人を助ける」という同じ一本の糸で貫かれているのであります。これは合衆国、カナダ、バミューダ、及びプエルトリコについて本当に言えることでもあります。」—ウォーレン・E・クラフト
- ⑥ 「私どもの地域（ヨーロッパ大陸、北アフリカ、及び東地中海）の一般ロータリアンはその伝統に励まされて、ロータリーの綱領に忠実であろうとし、そしてこれからの時代をもって、自分たちが国際ロータリーの全世界にわたる同胞的つながりによって、等しく奉仕を志している何十万もの世界各地の人々と共に参加すべき戦いのときとしているのであります。」—アーンスト G. ブライトホルツ。

ロータリーは国際的

- 国際ロータリーの加盟クラブは、151の国および地理的地域に散在している。
- 国際ロータリーの理事会を構成する17名の理事は、世界全地域の12か国から出ている。
- 国際ロータリーの地区の内40余の各地区には、2以上の国の諸クラブが入っている。
- 国際ロータリーの刊行物は基本となる5か国語で印刷され、ある種類のものは15か国語にも上るものがある。
- 1回の国際大会に103もの国々からロータリアンが参会し、親交を重ねた。
- 国際協議会には、次期地区ガバナーが全員参加する。

第68回国際ロータリー国際大会

第68回国際ロータリー国際大会は、1977年6月5—9日にアメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコで開催される。世界を旅行した者には、サンフランシスコを、自分たちが合衆国訪問で気に入った土地の一つに挙げている人が多い。

今からこの国際大会と結びつけた休暇旅行ないし商用旅行の計画を立てられては如何。たとえ各大会にはそれぞれ独自の持ち味があるとはいえ、だれか以前に出席したことのある人の話を聞けば、自然に行ってみたくなるのではなからうか。

■出席報告

| | | | | |
|-------|-----|--------|-----|---|
| 本日の出席 | 会員数 | 72名 | 欠席者 | 阿部(公)君、阿部(襄)君、五十嵐(三)君、玉城君、風間君、高橋(耕)君、小池君、石倉君、三井(徹)君、三浦君、角田君、中野(清)君、佐藤(昇)君、佐藤(忠)君、佐藤(衛)君、笹原君、新穂君、高橋(良)君、清水君、津田君、手塚君、山口君、藪田君、板垣(広)君 |
| | 出席数 | 48名 | | |
| | 出席率 | 66.67% | | |

| | | | | |
|-------|-------|--------|----|--|
| 前回の出席 | 前回出席率 | 79.17% | メア | 山本君—勝山R・C 板垣(俊)君—温海R・C 早坂(源)君、小松君、角田君、上野君、板垣(広)君 一鶴岡西R・C |
| | 修正出席数 | 64名 | | |
| | 確定出席率 | 88.89% | | |